

令和7年度 長崎特別支援学校 学校評価表 (回収率：教職員100%、保護者80%)

【評価尺度】		教職員	保護者	成果と課題
4：十分達成できている 3：どちらかという達成できている 2：どちらかという達成できていない 1：ほとんど達成できていない		評価平均 (昨年比)	評価平均 (昨年比)	
学校経営		3.3(-0.1)	3.4(+0.1)	昨年度とほぼ変わらない数値である。改善策をさらに明確にし、全職員で取り組んでいく。
1	学校は、学校経営方針(教育目標・学部目標・めざす姿など)を教職員や保護者と共有している。	3.3(±0)	3.4(+0.1)	
2	学校は、前年度の学校評価の結果や反省を改善につなげている。	3.4(±0)	3.3(±0)	全体として、数値的には昨年とほぼ変わらないものの、教職員評価が保護者評価に比べやや低めである。特に、教育活動の説明や指導方法の工夫、行事の運営について、教職員自身が十分でないと感じていることがうかがえる。
教育活動		3.4(±0)	3.5(+0.1)	
3	教師は、面談などを通して指導の方向性や援助の意図など、教育活動の説明を行っている。	3.3(-0.2)	3.5(+0.1)	
4	教師は、児童生徒の命と人権を尊重し、気持ちに寄り添った指導を行っている。	3.4(-0.2)	3.5(+0.1)	
5	教師は、本人や保護者の願いを参考にして、児童生徒の実態に応じた個別の教育支援計画を作成し、保護者面談や他機関との連携の際に活用している。	3.4(+0.2)	3.5(+0.1)	
6	教師は、児童生徒の実態を把握したうえで、個に合わせた指導を計画的に行っている。	3.4(-0.1)	3.6(+0.2)	
7	教師は、指導に関わる教職員間で児童生徒の体調や連絡事項及び指導方針などを情報共有しながら、指導を進めている。	3.5(+0.1)	3.4(±0)	
8	教師は、児童生徒の実態や興味関心に応じて、指導内容や教材・教具、教育機器などを活用するなど、指導方法を工夫している。	3.3(-0.1)	3.5(+0.1)	
9	学校は、児童生徒の実態に合わせ、ねらいを明確に設定したうえで、行事などを運営している。	3.3(-0.1)	3.5(+0.1)	
10	学校は、地域の資源を有効に活用し、児童生徒の経験を広げるために学校内外での体験学習を計画的に実施している。	3.3(-0.1)	3.3(±0)	
11	学校は、交流先となる相手校と連携し、児童生徒の相互理解が深まるような交流及び共同学習(各部全体・居住地校交流)に取り組んでいる。	3.4(-0.1)	3.4(±0)	
研修		3.5(±0)	3.5	自立活動の研修等が高評価につながっている。効果的な研修のあり方について検討が必要。
12	学校は、教育、医療、福祉などについて研修会を実施している。	3.5(±0)	3.5(新規)	昨年度に続き、評価が高い項目である。今後も安心安全なケアを継続していく。
医療的ケア		3.6(+0.1)	3.8(+0.3)	
13	学校は、保護者や病院と情報を共有し、教員と看護職員が連携を図りながら医療的ケアを行っている。	3.6(+0.1)	3.8(+0.3)	今年度は進路の全体的な体系についての情報提供に力を入れた。学部にて特化した情報や個別質問への情報提供不足がある。
情報提供		3.4(±0)	3.4(±0)	
14	学校は、保護者と進路についての情報交換を行ったり、必要な情報を提供したりしている。	3.3(+0.1)	3.2(-0.1)	教職員では一番低い評価である。保護者からも物の多さについて指摘があった。整理整頓について再検討する必要がある。
15	学校は、連絡帳や各種通信、面談などをとおして、学校での児童生徒の様子などについて情報提供している。	3.5(-0.2)	3.6(+0.2)	
教育環境		3.2(-0.2)	3.6(+0.2)	教職員、保護者ともに昨年度から評価が上がった項目である。健康面や安全面に配慮した日々の教育活動はもちろんのこと、引き渡しカードの周知、災害伝言ダイヤルの体験などが効果的だったと考える。備蓄品の薬については再検討する必要がある。
16	学校は、校舎内外の整理整頓及び定期的な清掃等により、衛生的な学校環境を維持している。	3.2(-0.1)	3.5(+0.2)	
17	学校は、教材を整理したり児童生徒の作品などを工夫して掲示したりするなど、教室環境を整えている。	3.3(-0.2)	3.6(+0.1)	教職員、保護者ともに昨年度から評価が上がった項目である。健康面や安全面に配慮した日々の教育活動はもちろんのこと、引き渡しカードの周知、災害伝言ダイヤルの体験などが効果的だったと考える。備蓄品の薬については再検討する必要がある。
安全管理		3.6(+0.1)	3.5(+0.2)	
18	学校は、児童生徒の健康面や安全面に配慮して教育活動を行っている。	3.5(+0.2)	3.5(±0)	
19	学校は、定期的な安全点検により、教室や校舎周辺に危険箇所がないように気をつけ、改善をしている。	3.6(+0.1)	3.4(+0.1)	
20	学校は、救急搬送訓練や避難訓練、不審者対応訓練など、安全を意識した活動を行っている。	3.7(+0.1)	3.4(+0.2)	
21	学校は、災害時に備え、備蓄品や引き渡しカードなどの整備を行っている。	3.6(±0)	3.6(+0.4)	教職員と保護者の評価はほぼ同じである。学校公開やホームページでの発信をさらに進めていく。
理解啓発		3.5(-0.1)	3.5(+0.1)	
22	学校は、行事や授業参観、PTA活動などに保護者が参加しやすいように配慮している。	3.4(-0.2)	3.5(+0.1)	
23	学校は、保護者の悩みや相談に真摯に対応している。	3.4(-0.2)	3.4(+0.1)	
24	学校は、情報セキュリティ等に関する研修を行うとともに、個人情報の保護に努めている。	3.5(-0.1)	3.5(±0)	
25	学校は、学校公開やホームページ、報道機関などにより、学校の教育活動を外部に発信し、理解啓発に努めている。	3.6(-0.1)	3.5(+0.2)	

※教職員の内容は今年度整理したため、令和6年度との比較は内容が近い項目を参考値として記載

※1、2の評価が10%以上になる項目は保護者、教職員ともになかった。

【総評】

○評価の結果

- ・昨年度よりも特にポイントが上昇した項目として、医療的ケアと安全管理があり、保護者からの評価も高い。
- ・教育活動については、指導の工夫等について評価が低く、早い時期に専門性向上をねらった研修等が必要なのではないかと考える。
- ・情報提供については保護者の評価が低い項目である。日々の児童生徒の様子については丁寧に伝わっているものの、進路に関する情報交換の機会がほとんどないという意見がある。
- ・教育環境については教職員の評価が一番低い項目である。整理整頓に努めてはいるが、物品の多さから改善を求める保護者の意見もある。

○来年度の改善策

- ・教職員の専門性向上(効果的な研修計画と教員への周知、外部講師を招いての研修)
- ・進路実現に向けたキャリア教育の充実と、各部や個に応じた進路情報の発信  
(各部に応じたキャリア教育や進路指導の充実と体系化、個別質問への丁寧な回答)
- ・安全で衛生的な校内環境の維持(毎月の安全点検を強化・活用、物品の整理整頓、不要物品の処理)